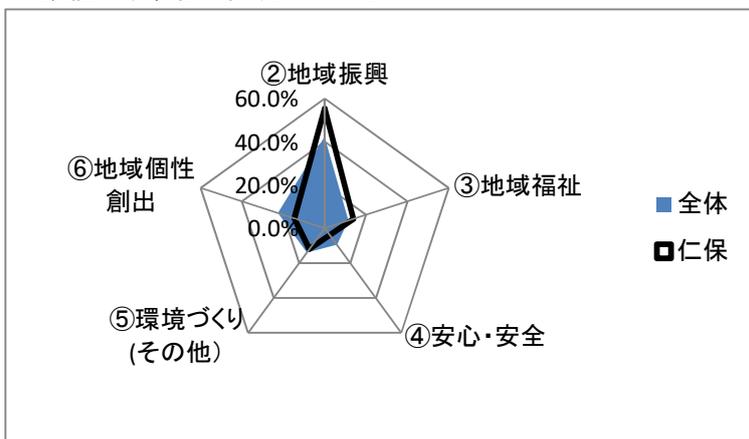


仁保自治会 地域づくり交付金事業概要(令和5年度)

■地域の情報

地域人口	2,688人	自治会数	23
世帯数	1,008世帯	自治会加入率	92.0%

※数値は、令和6年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,763,000 円
交付金決算額	9,643,796 円
その他収入	11,446 円
交付金決算額／配分額	98.8%

各分野の決算

①協議会運営	4,209,511 円
②地域振興	1,622,652 円
③地域福祉	406,061 円
④安心・安全	115,444 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,519,760 円
⑤環境づくり(その他)	351,644 円
⑥地域個性創出	430,170 円
決算総額	9,655,242 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!!～仁保に胸キュン～」を合言葉に住み良い地域づくりを進める。

■総括

第3次地域づくり計画に掲げる地域の活性化や安心して生活できる環境づくりを達成するために、コロナ禍で縮小していた大農業まつりや夏祭り、運動会などを工夫しながら開催した。産業振興事業では、農業体験など農村地域の長を生かした事業を実施し、参加者から大変好評を得た。地域交流促進事業では、地域課題に独自に取り組む地域活動団体を公募により発掘することで、その活動や人材を育てることができた。また、仁保自治会に加入する団体も交えた情報交換の場を設けることで、それら活動のPRや新たな気付き、団体を跨いだ連携の輪の広がりなど、地域活動の活性化にも寄与した。仁保里山活性化研究会を立ち上げ、「道の駅仁保の郷」や地域資源を活用した交流機会の創出と、持続可能な農業や魅力ある加工品づくりをテーマとし、部会に分かれ、それぞれ地域課題の解消や地域の賑わいづくりに取り組んだ。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	情報発信事業、地域交流促進事業、地域活性化応援事業①、法定外公共物整備事業②、有害鳥獣被害防止推進事業、産業振興事業、定住促進事業
③ 地域福祉	高齢者サポート事業、健康増進事業、ニュースポーツ振興事業 こども高齢者交流事業①、子育て支援事業
④ 安心・安全	交通安全推進事業、防犯灯設置補助事業、自主防災活動実施事業
⑤ 環境づくり	法定外公共物等整備事業①、清掃活動推進事業、環境維持保全事業
⑥ 地域個性創出	歴史文化伝承事業、こども高齢者交流事業②、地域活性化応援事業②

■重点的に取り組んだ事業

事業名	地域交流促進事業	決算額	820,584円
①	<p>目的</p> <p>地区内の観光資源など、積極的な情報発信を行う。 地域内外との交流を独自に行っているグループを支援する。 これらの取組により、交流人口の増加と、地域の活性化を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>Instagram等を使い、積極的に情報発信を行った。 仁保写真コンテストを開催。 独自に地域間交流に取り組む団体(にほかあさんの会、仁保んオープン、仁保クラスメイトプロジェクト、仁保の里山茶屋、丹保の会)を公募し、活動を支援した。 上記団体と、仁保自治会構成団体間で情報交換会を実施した。</p> <p>実施時期</p> <p>4～3月</p> <p>参加人数</p> <p>—</p> <p>成果</p> <p>写真コンテスト応募79点。地域のグループが仁保自治会の活動に参加・協力した。</p> <p>評価</p> <p>仁保の地域資源の積極的な情報発信や、地域内外の交流を独自に行う団体を支援することで、地域内外の交流をより深めることが出来た。 また、これら団体と仁保自治会の団体間で情報交換会を開催したことで、団体同士の横のつながりを深め、地域活動の活性化を促すことが出来た。</p> <p>今後に向けて</p> <p>地域交流を一層促進するために、各団体の活動を支援していきたい。</p>		
事業名	高齢者サポート事業	決算額	81,736円
②	<p>目的</p> <p>急激な高齢化が進む当地区において、高齢者の健康と交流を図る。 笑顔で安心して暮らすことができる地域づくりに向け、高齢者等が日常生活の中で抱える困りごとを住民同士が助け合う支援体制の構築を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>老人クラブ各大会開催、シニア健康教室、サロン活動資材購入、福祉推進会議を隔月一回のペースで開催。支えあい実行委員会の活動支援。</p> <p>実施時期</p> <p>健康教室(7月)、サロン活動・通年、福祉推進会議・4回</p> <p>参加人数</p> <p>—(地域住民対象)</p> <p>成果</p> <p>各種健康づくりの活動が実施された。 高齢者の支え合いの仕組み「仁保地域助け合いサービス」の取組が始まった。</p> <p>評価</p> <p>地区民の各階層の健康づくり活動や助け合いが促進された。</p> <p>今後に向けて</p> <p>活動の内容を一層充実させていく。</p>		
事業名	自主防災活動	決算額	73,260円
③	<p>目的</p> <p>自然災害が多発する中、万が一に備え地域内の防災体制の充実を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>防災連絡網の作成。災害時に使用する土のう・真砂土の配置。防災研修会の実施。</p> <p>実施時期</p> <p>通年</p> <p>参加人数</p> <p>—(仁保地区全住民対象)</p> <p>成果</p> <p>高齢化が進む中、災害から高齢者を守るための集落の連絡網が作成出来た。 土のう袋、真砂土を希望支部(集落)に配布して災害に対する備えを行った。 地域防災研修により、防災意識の啓発が図られた。</p> <p>評価</p> <p>住民の有事に備える意識が啓発された。</p> <p>今後に向けて</p> <p>災害時の対策を一層進めていく。</p>		